USB/eSATAスケジュールバックアップモジュール使用方法

USB/eSATAスケジュールバックアップモジュールを使って、NASと外部ハードディスク間で共有フォルダーを バックアップ/復元できます。

※ACL(アクセス権)情報は、共有フォルダーと別に保存されます。その為、バックアップ先(外部ハードディスク内) のデータにACL情報は反映されていませんが、NASにデータを復元した時にはACL情報も同時に復元されます。

対象製品

Thecus NAS(ヤノモデル/ファームウェアのバージョン:v3.05.02.4)

オリジナル版との違い

- ・タスク数の制限を5個から20個に拡張しました。
- ・タスクのダウンロード/アップロード機能を追加しました。
- ・「USB/eSATA機器の取り外し」ボタンを追加しました。
- ・日本語表示になりました。

バックアップ先のハードディスクの準備

- ・バックアップ先のハードディスクはNTFSでフォーマットされている必要があります。
- ・バックアップ先のハードディスクの空き容量は、バックアップ元のNASのデータ容量と同じ、もしくはそれより大きい必要があります。
- Thecus NAS(ヤノモデル)【ファームウェアVer.3.05.02.4】はGPTパーティションのUSB/eSATA機器に対応していません。MBR パーティションのUSB/eSATA機器(2TB制限)をお使いください。
- ・バックアップ先のハードディスクを起動完了後のNASのUSBまたはeSATAポートに接続してください。

USB/eSATA スケジュールバックアップモジュールのインストールと有効化

 製品に添付されているCDに 「USB_eSATA_Schedule_Backup_1.0.3Yt2.app」が入っ ている事を確認します。 モジュールが入っていない場合は、弊社Webサイトよりダウン ロードしてください。

http://www.yano-sl.co.jp/download/soft/nas_usb_esata_sche dule_backup_v103y.html

※「USB_eSATA_Schedule_Backup_1.0.3Yt2.app」は 「USB_eSATA_Schedule_Backup_1.0.3Yt2」フォルダーに入っ ています。

▼

ログイン

2. WebブラウザーでNASのIPアドレスをアドレスバーに入力 します。

V

3. パスワードを入力してadmin画面にログインします。



メニュー

4.「モジュール管理」から「モジュールのインストール」をクリック します。

V

ホーム>モジュール管理>モジュールのインストール

- 「■ボタンをクリックし、モジュールファイル (USB_eSATA_Schedule_Backup_1.0.3Yt2.app)を選 択します。
- インストール」ボタンをクリックします。
 確認メッセージが表示されるので、「Yes」をクリックします。
- 7. インストールが開始されます。
- 8. 右側の【モジュール管理】の中に表示されている 「Usb_eSATA_Backup」のアクションボタン「▶」をクリッ クします。
- 確認メッセージが表示されるので、「Yes」をクリックします。
- ※右側に何も表示されない場合、モジュールを製品添付のCDからインス トール、もしくは弊社Webサイトからダウンロードおよびインストー ルする必要があります。
- ※ダウンロード方法の詳細は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせく ださい。
- 9. モジュールが有効になり「システムモジュール」に 「Usb_eSATA_Backup」が追加されます。

▼ メニュー 10.「モジュール管理」から「システムモジュール」の 「Usb_eSATA_Backup」をクリックします。

11. バックアップタスクの作成や編集を行う為の新しいウインドウ が開きます。









バックアップの作成/実行/編集/削除/復元

■タスクを作成し、バックアップを実行する

新規ウインドウ

1.「追加」をクリックします。

2. 以下の内容をそれぞれの項目に入力します。

タスク名	バックアップ管理用の名称を入力します。
コメント	バックアップの注釈を入力します。 (入力必須項目ではありません)
ターゲットデバイス (USB/eSATA機器)	USBもしくはeSATAで接続しているバッ クアップ先のハードディスクを選択します。
バックアップ方法	完全一致バックアップの場合は【同期】、増分 バックアップの場合は【差分】を選択します。
バックアップ元の 共有フォルダー	バックアップ元の共有フォルダーを 選択します。

▼

3. 自動設定を行う際は以下の項目を入力します。

スケジュールの有効/無効	「有効」を選択します。
開始時間	開始時刻を設定します。(24時間表示)
バックアップ周期	バックアップ間隔を【毎日】と【毎週】と【毎月】 から選択します。

すべての項目を入力後、「適用」をクリックします。
 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

▼

5. トップ画面にタスクが追加されました。 アクションボタン「▶」をクリックするとバックアップが実行されます。バックアップを途中で停止する場合は「□」をクリックしてください。バックアップの進捗状況および結果については「最終ステータス」で確認できます。

※3.でスケジュールを設定している場合は自動的にバックアップが開始 されますので、手動で実行する必要はありません。

※タスクを複数作成して同時に実行できますが、バックアップ時間が増える と共に全体のパフォーマンスが低下します。

できる限り作業時間をずらしてそれぞれのタスクを実行してください。

	P.11/admi/g	ethum hem	Module+Unb_eSATA	Jackup			· 슈츠 @
Therein	Thecus*,	Creator In	Storage				
OM	n 0	-	~ 9.7. Om				
	- デェトデ (ックアップ) (ックアップ) (メントは金 18/e3ATA	ステンユー ペイスはNT (単元中は、 が実行でき) 角ひ文字(4 勝勝をNAS	AL(99797 F5を7ポートしている USD/e5ATA機器の ない場合は、USD/e5 (内18文字) まで表的 から取り外す解は、4	ET. E単年の行にしないでください。1 ATA酸量をWindowsに発発して できます。 YTB直での「USB/eSATA酸酶」	にた、NASIFら取り外来ない スキャンディスクを実行して の取り外し、ポタンを変用し	ITCEEN.	
	92.96	4480	スケジュール	ターダットアバイス (US0/#SATA機能)		単新ステータス	R (7
	2088						





■タスクを編集する



4. タスクの変更内容が反映されます。

-		efturm he	HPModule=Unb_e54	KTA_Backup			17.C
Theeu	Thecus*,	Creator	in Storage				
	2-	_					
0	MX. 0	52	~ @元 │ ◎	ALM.			
4	USB/eSATA	2752	-141599797				
2	パックアップ) パックアップ) コメントは全! USB/eSATA	電光中は ド共行では ND大学 単語をNA	U10/4547488 1914802, U50/ (981829) 878 (8868059882	の電量をiHにしないてください。 ASATA開きWindowsに展開して 意でさます。 . みず高書下の「USB/#SATA開き	また、NASHら取り外さ (スキャンディスクを実行)の取り外し、ポタンを使	ないでください。 してください。 用してください。	
	92.78	אעאב	スケジュール	ターザットデバイス (USO/eSATA機能)	电相关打印 和	単新ステータス	3817
4			ALC: 00.00 (00.00)	HERRIN HTRS: 45032994A3001	2013/05/13 10:15	パックアップに構造しました。	
1	Rige Task, 1		#E 0000 (#III)				
1	和 <u>デ</u> Task_1 スクの管理		(43×2=4)	/ (7y70-F)			

■バックアップしたデータを本体側の共有フォルダーに復元する

٦

1. 復元先となるNASの共有フォルダーを確認します。	
※バックアップしたフォルダーと同じ名前/パブリック設定にしてく ださい。	
※共有フォルダーが存在しない場合は作成してください。	
▼	
新規ウインドウ	
2. 復元するタスクのチェックボックスにチェックをします。	
※タスクが表示されない場合は、P5を参照しタスクのアップロードを 行ってください。	
3. 「復元」をクリックします。	
4. 確認メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。	
5. 復元が実行されます。	
※同じ名前の共有フォルダーがNASに存在しない場合、復元はエラー となります。	
※バックアップを行ったタスクが一覧にない、もしくは選択できない場合、復元できません。	
※「タスクをダウンロード/アップロードする」をご参照ください。	



■タスクをダウンロード/アップロードする

作成したタスクの設定をUSB/eSATA機器にダウンロードした り、あらかじめダウンロードしていた設定をアップロードできま す。誤ってタスクを削除してしまったり、RAIDが故障してしま う前に、タスクの設定をあらかじめダウンロードしておくと、万 ーの際にもアップロードして設定を復元できます。

- ・ダウンロード:NASからUSB/eSATA機器にタスクの設定を ダウンロードする。
- ・アップロード:USB/eSATA機器からNASにタスクの設定を アップロードする。

新規ウインドウ

- 1. 対象となるUSB/eSATA機器を選択します。
- 2.「ダウンロード」もしくは「アップロード」ボタンをクリックしま す。
- 3. 確認ダイアログが表示されるので「OK」をクリックします。
- タスクがダウンロード/アップロードされます。
 (ダウンロード/アップロードが完了すると、画面左上に「タスク 情報をダウンロード(または、アップロード)しました。」と表示 されます。)
- ※アップロード時には、タスクの一覧が更新されますが、ダウンロード 時には、見た目の変化はありません。





■タスクを削除する

注意:タスクを削除すると、あらかじめタスクをダウンロードしていない場合はそのタスクの復元ができなくなりますのでご注意ください。





USB/eSATA機器をNASから取り外す

USB/eSATA機器をNASから取り外す際は、下記の手順で操作してください。

新規ウインドウ

- クライアントコンピューターにUSB/eSATA機器の共有フォ ルダーがマウントしていないことを確認します。
- 2. アンマウントするボリュームを選択します。
- 3.「USB/eSATA機器の取り外し」ボタンをクリックします。
- 4. 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。
- 5. 画面左上に「USB/eSATA機器を取り外しました。」と表示され ます。
- 6. 接続解除されたUSB/eSATA機器をNASから取り外します。
- ※eSATAの接続を解除した時、admin画面>ストレージ>ディスク情 報の画面には接続情報が残っていますが、そのまま取り外して問題あ りません。
- ※USB/eSATA機器を再度NASに接続する場合は、取り外し後30秒 以上経過してから接続してください。(接続解除が反映される前に再 度接続すると、正常に認識されません。)
- ※USB/eSATA機器がモジュール画面に表示されない場合はNAS本 体を再起動してください。



	<u>a</u> .						
	Mar Inecu	r, orang	In Storage			_	_
5	US8/eSA	A機器を取	り外しました。				
4	Outro	ORR	~#R 0	ala			
	USB/eSA	A3793	ールパックアップ				
	ターデットアバイスはNTFSをマボートしています。 バックアップ国大中は、USB/eATA種類の電理をOFEにないでください。また、NASPら取りたさなかってください。 バックアップ規定するない電気化であるのである。USB/eATA種類をWindowsに創催してスタッンアイスでを実行してください。						
	USB/65A	全角5大学 「入業器をNA	(半角12大学) まで) ふから取り外で開始	ATTENTS (USB/ADATABE		RUTCEAN.	
		6 3XVN	スケジュール	ターザットデバイス	BARDAR	単新ステータス	R (7
	925			(USB/eSATA##)		-	

バックアップしたデータを確認する

直接PCに接続すると、文字化けやリソースフォークが欠けてファイルの中身が正常に見えない可能性があります。緊急時を除 き、NASに接続したまま共有フォルダーとしてデータにアクセスしてください。